



泉大津市市民活動支援センター

# おづぷらざ

vol. 11

【発行所】NPO法人いすみおづ市市民活動ネット【発行日】平成 29 年 12 月 15 日

## 災害ボランティア入門講座



### ▼なぜいま災害ボランティアの講座なのか▲

おづぷらざでは、「わかりやすく・ためになる」をモットーに各種の講座を開催しています。

今回は、大阪ボランティア協会の森本 聡氏を講師に迎え、「災害ボランティア入門講座」を開催しました。

皮肉にも台風が最接近する10月29日が講座開催日でしたが、悪天候の中、10代から40代の若い世代の方が多く受講してくれたことはうれしく、頼もしい限りです。

この泉州地域は長らく大きな災害に見舞われたことがないため、防災意識が薄いといわれます。しかし、この講座開催1週間前の台風による岸和田市での土砂崩れや南海線鉄橋の陥没による不通などを考えると、泉大津市も決して安全とはいえません。



講師の森本氏



皆さん真剣に聴いてくれました

今回、近隣都市ではあまり例がないこの講座を開催した理由は、テレビの被災地の映像で見る、復旧作業で活躍する災害ボランティアの活動実態を知ること、人を助けることの意味と活動に参加する方法を知るとともに、自身が災害ボランティアにならなくとも、自分の住むこの泉大津市が被災した時にどのような行動すべきかを考えていただくためです。

### ▼災害から学ぶもの▲

講師の森本氏は、大阪ボランティア協会の災害支援委員長であり、また現役の災害ボランティア

でもあります。

今回の講座では、現地で撮影した写真を使って、災害の種類や現地情報の収集方法、服装や装備など、現地入りするまでの準備と心構えを体験に基づいて詳しく語っていただきました。

また、作業後のボランティアにかき氷をふるまうボランティアの話や、現地に行けない人は、赤十字やNPO法人に義援金や支援金で協力することも立派なボランティア活動であると話してくれたことで、現地で泥出しなどの作業をすることだけが災害ボランティアの活動ではないということを知りました。

講師の口調が終始おだやかなこともあって、講座タイトルはいかめしいのですが、あまり深刻さは感じずに学んでいただけだと思います。

特に「被災地から帰った直後は興奮しますが、日常に帰ったら、ゆっくり休むことが大切ですよ。」という言葉に、肩の力を抜いて行うことが活動を継続する秘訣だと教えられた講座でした。

最新技術で災害に対応  
NPO法人泉州てらこや



台風の中でも「まち歩き」を実施



法人代表の石原住職

ICTを利用した災害対応を体験する

10月29日に東北地方の被災地支援などで積極的な活動を展開しているNPO法人泉州てらこやが、2回目となる「防災訓練ぶらりまち歩き」を開催しました。

午前10時より池浦町の生福寺本堂で、東日本大震災を経験された大船渡津波伝承館の齋藤賢治氏の講演があり、続いてスマートフォンアプリを使った街歩きが行なわれました。

に、学校などの公共施設に加えてお寺や神社なども避難場所として表示されるものです。

訓練当日が台風の通過となる中、地元住民や大学関係者を含む約30名がグループに分かれて、アプリを使いながら市内の避難所を歩いて「避難者〇〇人、負傷者〇〇人、要介護者〇〇人」と避難状況の入力や写真撮影を行い、被災者情報を共有する体験をしました。

引き続き、まち歩きの結果について、テクスピア大阪の会議室で発表とワークショップを実施したことで、参加者は防災への思いを新たにしたことと思います。

芋ほり体験会

ひつじのゆめ広場プロジェクトチーム



ブニングに始まり、集まった親子で楽しく芋ほりを体験しました。ただ芋を掘るだけでなく、土の中から見つけたビー玉を持っていくとお菓子の詰め合わせと交換してもらえ「空さがしゲーム」などの仕掛けなど、いたるところに主催者の工夫が感じられ、大人も子どもも楽しめる大満足のイベントでした。

ひつじのゆめ広場プロジェクトチーム主催の「焼き芋付き 芋ほり体験会」が、10月1日に旧泉大津市民会館南隣の広場で開催されました。今年の春に地元の中学生たちの手で植えてもらった鳴門金時を収穫するイベントですが、秋晴れの日曜日とあって、大勢の家族連れで賑わいました。いずみ太鼓 鼓聖泉（こせいせん）の力強い演奏によるオー

第2回 まなび愛広場



合理的配慮を学ぼう

11月16日に、ボランティア団体の話を聞いて、参加者みんなで深く考える第2回の「まなび愛広場」を開催し、今回は、NPO法人リアライズに、生活介護事業「パイオニア」の活動内容と、障害者差別解消法の「障害者への合理的配慮」について発表してもらいました。当日は予想を上回る16名の参加者があり、「障がい者が店舗を利用する際に協力します」という意思表示のシールを貼ってもらおう取組み「泉大津TRY」の拡大活動や、障がい者の立場から見た「合理的配慮」とは何かについて活発な質問や意見が出ました。

特に、「合理的配慮」については、抽象的な言葉で分りにくいものでしたが、「例えば私の場合、段差だらけで、トイレが和式しかないような店でも、利用する時にお店の人の少しの気遣いと手助けによって気持ちよく利用できたら、個人的には、それで十分合理的配慮だと思います。」との説明に、その場の参加者もこの言葉の本質に気づかされたのではないのでしょうか。

第4回 市民ガーデニングコンクール



9月24日に東雲公園で緑化ボランティア協議会が5回目となる「花と緑を楽しむ市民の集い」を開催しました。秋晴れの空の下で、「いずみ太鼓 鼓聖泉」の若手による和太鼓演奏に始まり、「第4回市民ガーデニングコンクール」として泉大津市の緑化に応募いただいた個人や団体50名に、「ご近所へ感謝の鉢植え大賞」などユニークな視点で、個人宅の花から学校校庭の芝生管理に至るまで、さまざまな内容でその功績をたたえ、表彰式が行われました。イベントの最後には、葉ボタンの苗が参加者に配られましたが、この葉ボタンもこれから市民の皆さんの手で大切に育てられ、お正月を鮮やかに彩ることでしょう。

日本語で遊ぼう 英語も話してみよう



EFFCの英語レッスン

10月30日に旭小学校多目的室で、NPO法人わかばの森アフタースクールが、小学生に英語レッスンをする団体「EFFC」と合同で、遊びを通じて学ぶことの楽しさを伝える「わかばクラブ」を実施しました。集まった仲よし学級の1年生33名に、カードを使った「ことば遊び」や「文字数のたし算・ひき算」に加え、EFFCによる「英語の学び」では、子どもたちが先生の口元を見ながらカードのアルファベットを発音したり、動物の英語名でカルタ取りをしたりと、遊びを取り入れた学習で、みんな大喜び。本当に、あっという間に予定の60分が過ぎてしまいました。

第15回

まちづくり

## 井戸端会議

## を開催します



市民が自由に集い、身近な出来事からまちづくりまで、様々な情報を交換する場です。

何かを始めたいと思っている方、余暇を活かしたいと思われている方など、どなたでも参加できますので、お気軽においでください。

日 時：1月20日（土）

午後2時～4時まで

会 場：テクスピア大阪5階 おづぶらさ

定 員：先着20人（要申込）

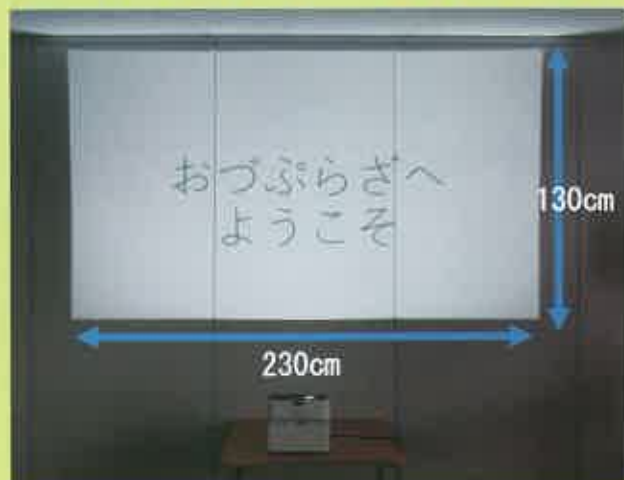
申 込：おづぶらさへ電話で

参加費：無料



最新の超短焦点型

## プロジェクターが使えます



多機能レーザーポインタ



おづぶらさの会議スペースでプロジェクターが使えます。

壁面から40cm離しただけで、横230cmの大画面が映せる超短焦点型のため、設置スペースをとらず、会場を広く使えます。

あわせて多機能レーザーポインタを使うと、手でパワーポイントのスライド操作ができ、とても便利です。

操作のお手伝いもしますので、講習などにご利用ください。

もっと団体の情報を発信するために

## 活動情報をお寄せください

団体の活動紹介を広報紙「おづぶらさ」で発信しませんか。メールや電話で、またはイベント告知のチラシやポスターをセンターにご持参の際に、取材のご依頼をいただければ、当日取材にうかがいますので、積極的な情報のご提供をお願いします。

さらに、センターのブログに掲載してネットで発信することもできますので、広報紙とともにご活用ください。

ブログ掲載の手続きなどについては、センターにお問い合わせ下さい。

第3回

年度末を盛り上げよう!

## おづぶらさフェスタ

年度の最後を飾るおづぶらさフェスタを平成30年3月に開催します。皆さまお揃いでご参加ください。

パネル展 3月22日（木）から  
27日（火）まで

テクスピアギャラリー  
ステージ発表・体験コーナー

3月25日（日）

テクスピア小ホール

[開館日] 木曜日～火曜日 午前9時30分～午後5時15分

[閉館日] 水曜日・祝日・年末年始

〒595-0025 泉大津市旭町22番45号 テクスピア大阪5階

[TEL] 0725(24)9016

[FAX] 0725(24)9017

E-mail oduplaza@outlook.jp

ホームページ <http://www.city.izumiotsu.lg.jp/oduplaza/>

泉大津市市民活動支援センター  
おづぶらさ